

岡山大学構内遺跡発掘調査報告 第38冊

鹿田遺跡 16

— 第20次調査B・D地点 —

(岡山大学病院中央診療棟新営に伴う発掘調査)

2022年

岡山大学埋蔵文化財調査研究センター

序

岡山大学津島キャンパスには津島岡大遺跡、鹿田キャンパスには鹿田遺跡、三朝地区には福呂遺跡があります。その中でも鹿田遺跡は摂関家の荘園である鹿田庄に比定される遺跡で全国的に知られています。鹿田遺跡は1983年度に発掘調査が始まり、調査が始まって40年の節目を迎えようとしています。

本報告書は、本学大学病院中央診療棟新営にともなう鹿田遺跡第20次調査B・D地点の調査報告となります。本調査では既存建物の基礎によって壊された部分があったものの、弥生時代後期～古墳時代初頭に属する井戸・土坑・溝、中世前半の井戸・土坑・溝が検出され、さらにそれらの遺構に伴う土器等の遺物が出土しました。また、中世後半～江戸時代の屋敷地の存在が初めて確認されました。鹿田遺跡では弥生時代中期後葉以降、江戸時代まで、断続的に集落が営まれてきました。本調査はその具体的な移り変わりの一一面を見せてくれたと言えます。本調査の成果と出土資料は、大学病院中央診療棟という多くの人が訪れる場所からの発見であり、病院を訪れる方々や鹿田キャンパス周辺の住民から多くの关心が寄せられることでしょう。本報告書を基にして研究成果の活用に努めて参りたいと存じます。

本報告書に作成に当たり、学内外の多くの方々から多大なご協力をいただきました。疫禍で移動や出勤もままならない中で、ご協力をいただきました皆様には心よりお礼申し上げます。疫禍の中で作成した調査報告書は、将来それ自体疫禍という苦難を顧みる歴史資料となりましょう。また、発掘調査時にご協力いただいた関係者の方々にもあらためてお礼申し上げます。

なお、埋蔵文化財調査研究センターは2022年4月に、岡山大学文明動態学研究所と統合します。今後は、同研究所の文化遺産マネジメント部門が本学の埋蔵文化財の調査・研究・活用を担って行くことになります。埋蔵文化財調査研究センターが保管している図面・写真・出土遺物は文化遺産マネジメント部門が引き継ぎ、かつ未報告の調査についても同部門が整理し報告書を刊行してまいります。文明動態学研究所統合後も、本学の埋蔵文化財調査に引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

岡山大学埋蔵文化財調査研究センター

センター長 袖山禎之
副センター長 清家章

目 次

第1章 歴史的・地理的環境	1
第1節 遺跡の位置と周辺遺跡	1
第2節 鹿田遺跡	3
1. 構内座標の設定	3
2. 遺跡の概要	3
第2章 調査に至る経緯と概要	10
第1節 調査に至る経緯	10
1. 調査に至る経緯	10
2. 調査の体制	10
3. 調査経過	11
第2節 調査の概要	13
第3章 調査の記録	15
第1節 調査地点と層序	15
1. 調査地点	15
2. 層序	16
第2節 弥生時代～古墳時代初頭の遺構・遺物	19
1. 井戸	20
2. 土坑	20
3. 溝	21
4. 落ち	22
第3節 中世前半の遺構・遺物	24
1. 建物・ピット群	25
2. 井戸	29
3. 土坑	50
4. 溝	54
第4節 中世後半～近世の遺構・遺物	68
1. 井戸	69
2. 土坑	84
3. 溝	91
第5節 包含層ほかの出土遺物	100
第4章 自然科学的分析	103
1. 鹿田遺跡第20次調査出土木製品類の樹種同定	能城修一 103
2. 鹿田遺跡第20次調査出土種子同定	岩崎志保・沖陽子 112
3. 鹿田遺跡第20次調査出土漆製品分析	(株)吉田生物研究所 119
4. 鹿田遺跡第20次調査出土動物遺存体の分析	富岡直人 122
5. 放射性炭素年代測定	パレオ・ラボAMS年代測定グループ 124

図版

挿図目次

第1章～第3章			
図1 周辺遺跡分布図	2	図36 井戸12	46
図2 発掘調査地点と構内座標	4	図37 井戸12出土遺物	47
図3 調査開始状況	11	図38 井戸13・出土遺物	49
図4 検出遺構全体図	13	図39 井戸14・出土遺物	50
図5 調査地点位置図	15	図40 土坑2・出土遺物	51
図6 土層断面の位置と調査区の呼称	16	図41 土坑3	52
図7 土層柱状図	17	図42 土坑3・出土遺物	53
図8 弥生～古墳時代の遺構全体図	19	図43 土坑4	54
図9 井戸1	20	図44 土坑5・出土遺物	54
図10 土坑1	20	図45 溝10・11断面	55
図11 溝1～3断面	21	図46 溝10出土遺物	55
図12 溝4～7断面	21	図47 溝11出土遺物	56
図13 溝8断面	22	図48 溝12断面・出土遺物	57
図14 溝9断面	22	図49 溝13断面・出土遺物	58
図15 落ち断面・出土遺物	23	図50 溝14断面	58
図16 古代末～中世前半の遺構全体図	24	図51 溝15断面・出土遺物(1)	59
図17 ピット群検出状況	25	図52 溝15出土遺物(2)	60
図18 掘立柱建物1	26	図53 溝16断面	60
図19 ピット出土遺物	27	図54 溝16出土遺物	61
図20 井戸2・出土遺物	29	図55 溝17断面	61
図21 井戸3	29	図56 溝18断面	62
図22 井戸3出土遺物	30	図57 溝18遺物出土状況	63
図23 井戸4	30	図58 溝18出土遺物(1)	64
図24 井戸4出土遺物	31	図59 溝18出土遺物(2)	65
図25 井戸5・出土遺物(1)	32	図60 溝18出土遺物(3)	66
図26 井戸5出土遺物(2)	33	図61 溝18出土遺物(4)	67
図27 井戸6・出土遺物(1)	35	図62 溝19断面	67
図28 井戸6出土遺物(2)	36	図63 溝20断面	67
図29 井戸7・遺物出土状況	38	図64 中世後半～近世出土遺構全体図	68
図30 井戸7井戸枠・出土遺物(1)	39	図65 井戸15	69
図31 井戸7出土遺物(2)	40	図66 井戸15出土遺物(1)	70
図32 井戸8・出土遺物	41	図67 井戸15出土遺物(2)	71
図33 井戸9・出土遺物	42	図68 井戸16	72
図34 井戸10・出土遺物	43	図69 井戸16出土遺物(1)	73
図35 井戸11・出土遺物	45	図70 井戸16出土遺物(2)	74
		図71 井戸17	75

図72 井戸17出土遺物	76	図104 溝22断面	96
図73 井戸18	76	図105 溝22出土遺物	97
図74 井戸18出土遺物	77	図106 溝23断面・出土遺物	98
図75 井戸19	77	図107 溝24断面・出土遺物	99
図76 井戸20・出土遺物	78	図108 溝25断面・出土遺物	100
図77 井戸21	79	図109 包含層出土遺物	101
図78 井戸22・出土遺物(1)	79	第4章	
図79 井戸22出土遺物(2)	80	1	
図80 井戸23・出土遺物	81	図1 鹿田遺跡第20次調査出土木製品類の 顕微鏡写真(1)	106
図81 井戸24	82	図2 鹿田遺跡第20次調査出土木製品類の 顕微鏡写真(2)	107
図82 井戸24出土遺物	83	図3 鹿田遺跡第20次調査出土木製品類の 顕微鏡写真(3)	108
図83 井戸25・出土遺物	84	2	
図84 土坑6・出土遺物	84	図1 出土種子写真1~60	116
図85 土坑7・出土遺物	85	図2 出土種子写真61~120	117
図86 土坑8	85	図3 出土種子写真121~164	118
図87 土坑9	86	3	
図88 土坑10・出土遺物	86	図1 断面写真	119
図89 土坑11	87	図2 W50内面写真	121
図90 土坑12・出土遺物	87	図3 W50外面写真	121
図91 土坑13	88	図4 W50内面の塗膜断面	121
図92 土坑14	88	図5 W50外面の塗膜断面	121
図93 土坑15	89	4	
図94 土坑16	89	図1 No.1角製品	122
図95 土坑17	89	図2 No.7ヒト頭蓋骨破片(焼骨)	123
図96 土坑18	90	5	
図97 土坑19	90	図1 送付試料	124
図98 土坑20・出土遺物	90	図2 測定試料	124
図99 溝21断面	92	図3 曆年較正結果	125
図100 溝21出土遺物(1)	93		
図101 溝21出土遺物(2)	94		
図102 溝21出土遺物(3)	95		
図103 溝21出土遺物(4)	96		

表 目 次

第3章	
表1 挖立柱建物1構成柱穴一覧	26
表2 遺物掲載ピット一覧	28
第4章	
1	2
表1 鹿田遺跡第20次調査で 出土した木製品類の樹種	105
表2 鹿田遺跡第20次調査出土木製品類一覧	109
表1 種子出土遺構と同定個体数	112
表2 用途別種子一覧	112
表3 検出種子一覧	113
3	
表1 調査資料	120
表2 断面観察結果表	120

表1 鹿田遺跡第20次調査出土動物遺存体一覧 123

表1 測定試料および処理料 124

表2 放射性炭素年代測定および暦年較正の結果 124

表3 遺構一覧表 128

表4 磯同定一覧表 129

表5 オルソ図版掲載木器一覧

図版目次

カラー図版1 水滴 (T23)

カラー図版2 水滴 (T23) 詳細

図版1 弥生・古墳時代遺構全景

図版2 中世～近世遺構全景

図版3 井戸1・土坑1・溝1・3

図版4 溝4～8・落ち

図版5 井戸2・3・4

図版6 井戸5

図版7 井戸6

図版8 井戸7

図版9 井戸7 井戸枠出土状況

図版10 井戸8

図版11 井戸9

図版12 井戸10

図版13 井戸11

図版14 井戸12

図版15 井戸13

図版16 井戸14

図版17 土坑2・3

図版18 土坑4・5

図版19 溝10・11

図版20 溝12～16

図版21 溝18・19

図版22 井戸15

図版23 井戸16

図版24 井戸17

図版25 井戸18

図版26 井戸20

図版27 井戸21

図版28 井戸22

図版29 井戸23

図版30 井戸24

図版31 井戸25

図版32 土坑6～9

図版33 土坑10～13

図版34 土坑14～17

図版35 土坑18～20

図版36 溝21

図版37 溝22

図版38 溝23・24

図版39 溝25

図版40 中世前半の溝出土遺物

図版41 中世前半の土器(1)

図版42 中世前半の土器(2)

図版43 備前焼

図版44 中世後半以降の土器・陶磁器

図版45 瓦(1)

図版46 瓦(2)・土製品・金属器

図版47 石器・礫

図版48 石臼・礎石・鹿角

図版49 木製品(1) 曲物・板材・漆椀ほか

図版50 木製品(2) 井戸枠材

オルソ図版目次

オルソ図版1 井戸7南側板(1)

オルソ図版2 井戸7南側板(2)

オルソ図版3 井戸7東側板

オルソ図版4 井戸7北側板

オルソ図版5 井戸7西側板・桟木・支柱

例 言

1. 本書は岡山大学埋蔵文化財調査研究センターが、岡山大学病院中央診療棟新嘗に伴って実施した鹿田遺跡第20次調査B地点・D地点の発掘調査報告書である。調査地点は岡山市北区鹿田町2丁目5番1号に所在する。発掘調査期間は2009年9月～2010年3月、および2011年2月～3月で、調査面積は2497m²である。
2. 発掘調査および報告書作成は、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター運営委員会の指導のもとに行われた。委員・幹事諸氏に感謝申し上げる。
3. 本書作成にあたっては、以下の諸氏に教示・協力いただいた。記して感謝申し上げる。

石材同定：鈴木茂之（岡山大学学術研究院自然科学学域）、木材樹種同定：能城修一（明治大学黒曜石研究センター）、国産陶磁器の同定：乗岡実（丸亀市教育委員会）、軟質施釉陶器の同定：尾野善裕（京都国立博物館）、種子同定：沖陽子（岡山県立大学）、獸骨・鹿角の同定：富岡直人（岡山理科大学）、須恵器の胎土分析：白石純（岡山理科大学）、石器所見：扇崎由（岡山市教育委員会）
4. 発掘調査時の遺構実測・写真撮影は、池田晋・岩崎志保・野崎貴博・山口雄治・山本悦世が行った。
5. 報告書作成にあたっての主な担当は以下の通りである。

【遺物】<実測・観察表>有賀紅美・山本 <浄書>有賀・小野素子 <実測補助>西本尚美
<写真撮影>山口・野崎 <木製品sfm撮影>大橋紗恵子・木下洋子
6. 【遺構】<下図作成>岩崎 <浄書>岩崎・小野
遺物の全体整理は岩崎、遺構の時期比定は岩崎・山本が担当した。
7. 本書の執筆分担は目次に示した。
8. 本書の編集は清家章副センター長の指導のもと、岩崎が担当した。
9. 発掘調査の概要は「岡山大学埋蔵文化財調査研究センター紀要2009」・「岡山大学埋蔵文化財調査研究センター紀要2010」に一部報告しているが、本書をもって正式なものとする。
10. 本書で使用した地形図は、建設省国土地理院発行の1/25000の地形図「岡山北部」と「岡山南部」(平成6年発行)を合成して使用したものである。
11. 本書に掲載した記録・出土遺物はすべて本センターで管理している。

凡 例

1. 本書で用いる高度値は海拔標高であり、方位は国土座標V座標系（世界測地系）の座標北である。
2. 遺物番号は遺構別に付し、土製品にはT、石器はS、木製品はW、金属器はM、鹿角にはBを付して通し番号とする。
3. 遺物に関するデータは観察表にまとめている。観察表の表記基準は以下の通りである。
 - ①法量値は、数値の差が口径・底径で2mm以下、器高では1mm以下の場合は平均値を示すが、同数値以上の差がある場合は「×」「～」を付してその数値幅を示す。
 - ②残存状況については、計測部の残存度を示し、その割合が1/6以下の場合は「-」を記した。
 - ③色調は「新版標準土色帖」（富士平工業株式会社）の表記に基づく。
4. 土層注記では鉄分をFe、マンガンをMnと表記した。
5. 卷末図版の遺物番号は、本文中の遺物番号に一致する。
6. オルソ図はデジタルカメラRICOH GR2およびMetashapeを使用したSfmにより作成した。

